別添

収集、分析したデータ概要

○対象

県立3病院（奈良・三室・五條）及び医大附属病院

○対象期間及び人数

平成23年1月～12月の診療情報6,245人

○対象となる疾病

急がないと予後や命に関わる疾患である、脳卒中^{※1}、急性冠症候群^{※2}、心肺停止^{※3}、重症外傷^{※4}、腹痛・吐下血^{※5}、周産期（母体）^{※6}、周産期（新生児）^{※7}

○疾病別人数

	分析対象患者(人)
脳卒中	552
急性冠症候群	724
心肺停止	370
重症外傷	747
腹痛・吐下血	1,123
周産期（母体）	1,520
周産期（新生児）	1,209

※これらの分析過程で、緊急入院した患者のうち12月までに退院した確定診断患者^{※8}を対象に指標を算出しました。

※1 脳卒中：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血

※2 急性冠症候群：心筋梗塞、狭心症

※3 心肺停止：蘇生に成功した心停止も含む

※4 重症外傷：外傷・熱傷

※5 腹痛・吐下血：消化管出血、急性腹症、虫垂炎、消化管穿孔、急性脾炎、急性胆嚢炎、胆石・胆管炎・腹膜炎、腸閉塞・イレウス、腸重積、ヘルニア、大動脈瘤、腸の急性血行障害、子宮外妊娠、腎・尿管結石

※6 周産期（母体）：妊娠22週以上の妊婦

※7 周産期（新生児）：生後7日以内の赤ちゃん

※8 奈良病院及び医大附属病院については、DPCより「主傷病名」、「入院の契機となった傷病名」、「医療資源を最も投入した傷病名」、「医療資源を2番目に投入した傷病名」、「入院時併存病名」のいずれかが対象疾患で、かつ、緊急入院フラグのある患者
三室病院及び五條病院については、対象疾患患者で、かつ、来院時に患者記録シートを発行できた患者